

高野町広報

ホームページ <http://www.town.koya.wakayama.jp/>

主な内容

P2～ 特集

第3回『子ども議会』開催

P6～ まちの話題

P8～ 国際シンポジウムin高野山

役場の電話番号は56-3000、富貴支所の電話番号は53-2301です。

第3回『子ども議会』が開催されました!



管内小・中学生14名参加による子ども議会が、8月29日に開催されました。

開会を告げるベルが鳴ると、子ども議員は緊張した様子で議場に入り、自分の名前の書かれた席に着きました。木瀬町長が「皆様の質問に、しっかりと答弁いたします。」「分かりにくい事がありましたら、再質問していただいて結構です。」と話し、昨年度の質問に対しての取り組み状況について説明し、議長の前代莉枝さんが開会宣言。その後13名の子ども議員が1人ずつ順番に登壇し、本番さながらの議会運営の下、まちづくり・交通・環境等をテーマに、子どもらしい活発な意見が述べられました。



特集 子ども議会



進行する 町長 副議長 山田 三樹

高野町の将来を担う子どもたちが、自分たちの暮らす地域の身近な問題や希望を提言することにより、町政への関心を高め、また行政や議会の仕組みを学び、まちづくりへの関心を高めてもらうことを目的とし、子ども視点からとらえた意見・提案を発表してもらい、それに対して町長が高野町としての考え方を述べました。



遊具の改善について



高野山中学校3年 清原 佳愛 議員

●ほとんどの公園で、遊具の多くが古くなり、さびている。
●小さい子どもが安心して遊べない。

1、遊具を新しくして、安心して遊べるようにしてほしい。

質問

高野山の中には、「都市公園」と、「公営住宅に設置された公園」の2種類があります。都市公園には、大門中部にある「弁天公園」、五の室にある「金輪公園」、うぐいす谷の南山苑の上にある「転軸山公園」の三つがあり、公営住宅に設置した公園には、細川団地と紫雲団地、凌雲団地、うぐいす谷団地、桜団地の5か所があります。安全点検については、都市公園の遊具については数年に一度、職員が点検をして県に報告しております。また、町内三つの小学校の遊具についても新設や点検をしています。

昔は「児童公園」という分類で作っていたので、公園を作ったら必ずといっていいほど遊具の設置が当たり前でした。しかし、時代の移り変わりやニーズの変化とともに「憩いの場」や「くつろぎの場」としての公園と、たぐさんの遊具を設置した「子どもの遊び場」としての公園とが区別されるようになってきました。

今後は古くなって危険と判断した遊具は順次撤去しながら、住民の皆さんが集えるような交流

空間にして、また街の中を歩いている観光客がほっと一息つけるような空間へと移行していきたいと考えています。



高野山中学校3年 下名 迫里奈 議員

●花坂から高野山道路や高野山内で、ポイ捨てが多くみられる。

質問

1、ゴミの持ち帰りを呼びかける看板やポスターを、高野山道路や高野山内に設置してほしい。
2、高野山内の必要箇所にゴミ箱を新たに設置してほしい。

質問

私も、そういう場面を何回か見たことがあります。非常に悲しいことで、情けないことだと思います。

ゴミのポイ捨てが多く見られることについては、花坂地区では昨年花坂小学校児童たちにゴミ捨て禁止の看板を作ってもらいました。国道480号線沿いや付近の道路3か所に設置しています。この看板が設置されている所のゴミは少なくなりました。

高野山道路や高野山地区では、毎日環境パトロールをして10か所に設置しているゴミ箱の掃除や道路のゴミを回収しています。なかなかゴミは少なくなりますが、看板等を設置すればポイ捨てを減らすことは出来るかもしませんが、決して無くならないと思いません。ボランティアでゴミの清掃を行ってくれる方がいる

のに、ゴミを捨てる人がいるのはとても悲しい事です。子どもたちが世界遺産高野山の環境保全(ゴミなど)に対し、危機を感じて、何か対策を講じなければ高野山はゴミだらけになってしまうと思いい、意見をいただいたと思います。今後、高野山の街並みや自然環境と調和した看板やポスターの設置、高野山道路等の電光掲示板を利用して、「ポイ捨て禁止・ゴミは持ち帰りましょう」の啓発を行って、住民・高野山に訪れる参詣者の方々に、自分のゴミは持って帰るという意識を持っていただけるようより一層取り組みを進めます。



高野山中学校3年 廣山 拳都 議員

トイレについて

●観光客が多い場所にはトイレが設置されているが、とくに千手院から中学校までの通学路にトイレがなくて困っている。

質問

1、千手院から中学校までの間にトイレを建設してほしい。

質問

高野山は観光地であり大勢の観光客が来られますので、高野山内には15か所の公衆トイレがあり、基本的には、観光客用の公衆トイレとなっています。転軸山公園につきましては、施設の利用者も多く公衆トイレを整備しています。

千手院から中学校までの間にトイレをつくってほしいと言うことで、検討させていただきます。

た。簡易トイレを設置する方法もありませんが、衛生上の問題もあります。千手院から中学校の間には、保健福祉センターや高野町役場などの公共施設もあります。今のところ、その間に公衆トイレを作る計画は考えておりません。通学時間には職員も来ているので、高野町役場、又は中学校下の保健福祉センターを利用していただきたいと考えます。



4 高野山中学校3年
牧野 まきの 晃大 議員

花坂の生徒の交通手段について

●バス停が中学校から遠く、部活動なども他の生徒より早く終わらなければならぬ。

質 問
1、バス停を中学校の近くにつくってほしい。

●答弁
花坂の子どもが最後までクラブ活動が出来ない。私も非常に悲



しく思います。前回の子ども議会でも同じ質問があったので、スクールバス等を検討し、教育委員会と他の関連する課で調整しています。現在は、通学だけのバスという形では運行していないのでスクールバス等の導入については、今後花坂住民の方の意見も聞き、バス会社や関係機関等と協議していきます。



5 高野山中学校3年
牧野 まきの 優人 議員

歩道について

●役場から中学校までの間の歩道が狭い、あるいは歩道がない区間があり、危ない。

●車と人がぶつかりそうになって怖かった。

質 問
1、役場から中学校までの歩道がない区間に、新しく歩道をつくってほしい。

●答弁
役場から高野山中学校の間の歩道のない道路は、多くの中学生や、高齢の方が鷺谷方面より役場方向に歩いてこられます。歩道を出るだけ設置したいのですが、その区間の道幅が狭く歩道を設置した場合、車道の幅は相当狭くなり、乗用車同士の対向ができなような状況になることが予想されます。

そこで現状の車道の幅を確保したまま今よりは安全を確保する方法として、道路の両側にある白色の区画線の内側の歩く部分を緑色等でペイントすることを考えています。その部分には水の流れる



側溝という溝があったりしますが、ペイントすることによってドライバーに注意を促す効果も期待できるのではないかと思っています。この道に関しては、安全・安心という面で危険を感じていますので、出来るだけ取組んで行きたいと思っています。



6 富貴中学校3年
下垣内実穂 議員

橋本市に「富貴産地直送市場」出店について

質 問
1、橋本市に、現存する「やっちゃん」や「よつてつて」のよ

うな店を出店することで、富貴の活性化や町のPRにつながるのではないかと。また富貴や花坂のキャラクターを作りグッズ化し販売することについて提案します。

●答弁
昭和33年に高野と富貴が合併

しました。その時の富貴・筒香の人口が二六〇〇人で、現在は富貴・筒香地区を合わせて五七〇人前後です。地元の人も含め行政も富貴地区の活性化の部分に苦慮しています。富貴の野菜は、高原野菜というところで、五條・橋本近辺の市場では非常に人気があります。富貴方面に業者さんが買いに来てくれ、富貴野菜のブランド化が出来ていると思います。また、地産地消として昨年の4月から「高野やま里市」という市を開設し、高野山内の2軒の販売所に協力を得て販売をしております。現在「やっちゃん」や「よつてつて」というJAがやられている直販所には、高野や富貴のコウヤマキや農作物を出店しています。今のところ直営の直売所は、考えていません。また、ゆるキャラですが、高野山にはこうやくんがあるわけですが、地元の人が一一致してその地区のゆるキャラを作りPRしていく計画を立てていただければ、行政の方で支援や応援をさせていただきます。



7 富貴中学校3年
中山 辰也 議員

橋本や五條への道路の整備について

質 問
1、通勤、通学、買い物等のため、

車や車で、橋本や五條へ行く人がたくさんいる。しかし、五條や橋本への道は、車の対向が難しい狭い所も多く危険を感じるときがある。最近は大形のトラックやミキサー車

もよく通るようになった。安心して通れるような道にしてほしい。また、道が良くなると富貴の活性化にもなると思う。

●答弁
その路線は「阪本五條線」という県道になっています。かなり狭い場所がありますが、県に要望を出して和歌山県の部分は、ある程度、道路の幅が広がっています。が、奈良県側はまだまだ狭い部分が多く、買い物に行くのには相当不便であろうと思います。この道の所管は奈良県になるので、以前からこの道路の拡幅については、要望をしていますが、これからも引き続き奈良県に対して道路改良の要望を続けていきたいと思っています。



8 高野山小学校6年
今西 陸 議員

高野山小学校のプールについて

●屋根をつけたことで、風は通らなくなりましたが水が冷たい。

●屋根の透明部分が少なく、日光があまり当たらない。

●プールに入れる時間が少なく、水泳が苦手な子が多い。

質 問
1、水温が低すぎて、入ることができないので、水温をもっと上げることはできないのか。

●答弁
高野山小学校のプールの屋根は創立100周年記念事業として、平成20年5月に完成しました。当時

屋根の透明部分を増やすことはできないのか。

は、雨天時でも水泳ができることがメリットであると要望があり、国庫補助金と町費で実施しました。確かに雨が降っても泳ぐことができ、周囲もすべて囲いをしたため、木の葉やごみが入ってこなくなり環境は快適になりました。しかし、屋根が出来たので水温が上がらないことは聞いています。教育委員の方などとも相談し、どうしたら子どもたちが快適に利用できるか考え、水温を上げるのにボイラーを利用できないか考えています。今後専門の業者さんとも相談して行きたいと思っています。また、屋根を透明にという質問については、水温を上げるために関連した質問だと思いますのでまずは水温を上げるような形の方策を考えて行きたいと思っています。



9 高野山小学校6年
亀井 公純 議員

交通安全について

- 路上や歩道にたくさん車が止まっている。
- 駐車場が少ないように思う。
- 街灯がついていない所がある。
- 大学前の横断歩道で子どもがいるのに一旦停止しない車が多い。

質問

1、路上駐車に対する取り組みを教えてください。
高野町では街灯の点検をどれくらいのペースでしているのか。

■答弁■
以前は高野山上の路上駐車も

多く見受けられました。今は高野幹部交番の方々が毎日巡回していただいているので、現在は、歩きやすい町になっていると思います。ただ、駐車場問題もあり今年8月1日から20日にかけて社会実験として高野山に通勤している方の臨時駐車場を用意し、本山前駐車場に駐車している方の車を移動して、観光・参拝客の駐車場にしました。結果は、通勤者の臨時駐車場の確保により、本来の観光・参拝客の駐車場として活用できました。しかし21日からは地元の方が駐車されるので、観光客の駐車場として機能していないのが現状です。それに関しては、地元の方々が停められる駐車場がない状態なので駐車場の建設も考えています。路上駐車に関しては住民に対し広報等で協力の呼びかけを行ってまいります。

また、高野山の街灯には大きく分けて2種類の街灯があります。一つは大門から中の橋までの国道についている「景観に配慮した街灯」、あとの一つは国道以外の細い町道にある「防犯灯」です。防犯灯については、それぞれの町内会長さんから要望があったときに補助金を出しながら設置をしています。

また「点検のペース」については、国道の「景観に配慮した街灯」も「防犯灯」についても特別な「点検」はしていませんが、電球や蛍光灯が切れた時には各町内会の皆さんから役場に連絡をくれますので、その都度、蛍光灯の交換をできるようにしています。

一昨年、昨年と2年をかけて町内の「防犯灯」をLED化しました。



た。町内会単位で約5基ずつ、全体で約80基のLED化を進めましたので、今後は蛍光灯が切れることも少なくなると思っています。今後の予定ですが、国道についている「景観に配慮した街灯」のLED化も毎年少しずつ進めようと考えております。



10 高野山小学校6年
佐々木 蓮 議員

公園の設備やゴミについて

- 公園にゴミが捨ててあったり、犬のふんが落ちていて衛生に悪い。
- 公園に雑草がたくさん生えていて遊べない。
- 遊具がさびていて危ない。
- 気持ちよく遊べる公園にしてほしい。

質問
1、公園の草引きなどの取り組み

- 2、遊具などの安全は点検しているのか。
- 3、公園を子どもが楽しく遊べるようにできないか。

■答弁■

遊具が朽ちていたということ、早急に対処したいと思っています。まず「都市公園」3か所の公園の草刈りは、近くに住んでいる住民の方に年間の委託契約をしている公園もありますし、また、町の作業員さんに定期的に草刈りをしてもらっている公園もあります。また、町の「シルバー人材センター」にも草刈りや管理もしていたいでいます。

公園で遊べない状態にならないように十分気をつけているのですが、草刈りや掃除のタイミング的な問題でそのようになっていくこともあるのではないかと考えています。都市公園の遊具については数年に一度、職員が点検をして県に報告しております。しかし、遊具が古くなっている



のは事実であり、今後は、老朽化した遊具は取り払いながら、住民の皆さんが集えるような交流空間として整備したいと考えています。

また、楽しく遊べる公園にしてほしいということですが、遊具だけで楽しく遊ぶということより「遊び」というのは自分たちで工夫しながら、またどんなことでも「楽しい遊びにする」ということも考えてほしいと思います。危険な遊具については、早急に対処いたします。



11 高野山小学校6年
津田 晏奈 議員

遊び場(スケートリンク)について

- 学校の体育館で体験させて頂いたスケートがとても楽しかった。
- なぜ、スケートリンクを閉鎖したのか。
- スケートリンクを再開してほしい。
- 建物(スケート場)が残っているのにもったいない。
- 子どもの遊び場が少ないと思う。

質問

1、どういう理由でスケートリンクを閉鎖したのか。
2、遊び場を増やすことはできないのか。
3、遊び場として、スケート場を復活することはできないのか。

4、高野山小学校の体育館で体験したスケートリンクを、建物(スケート場跡)に設置する

ことはできないのか。

II 答弁 II

スケート場が出来たのは、昭和54年で今から33年前のことです。当時と比べて小中学生の数が5分の1に激減し利用者も少なくなり、経費もかさんできたため、平成18年度から休業しています。教育委員会と話し、ボードを使ったスケートを皆さんに体験していただき、その反響を聞き復活していきなかと今検討しています。予算的なことはありますが、取り組んでいくことを前向きに考えていきたいと思っています。



12 高野山小学校6年 前 美沙綺 議員

観光について

●観光マップが少ないように思う。●最近、外国人の観光客が少なくなった気がする。

●行き先がわからない観光客の人に、道をたずねられたことがあるので掲示板型の観光マップを増やしてほしい。

質問

- 1、町がしている観光客を増やす対策を教えてください。
- 2、震災の後、観光客の数は減ったのか。
- 3、高野町の放射能の測定をしているのか。また、公表していないのか。

II 答弁 II

平成16年世界遺産に登録された時は、年間160万人、昨年度までは130万人前後の観光客が訪れています。



昨年3月11日の震災後は、観光客は急激に減りました。平成22年度は130万人前後来られたのが、昨年度は10万人あまり観光客が減り17万人から18万人程度と減っています。しかし、本年に入り、外国人観光客、日本人観光客も徐々に戻ってきていますので、PRもしっかりして誘致に取組んでいきたいと思っています。

パンフレットやマップ等に関しては、多く作っていますので決して少ないとは感じていません。看板に関しては、景観上のこともありますので、関係機関と協議し考えていきます。観光客の方々に来ていただいで楽しく喜んでいただきたいと思っていますので、「おもてなしの心」が大事だと思います。皆様も観光客の方々をやさしくお迎えする心を持っていただきたいと思っていますのでよろしくお願います。放射能の測定は、していません。

今は、近畿地方、和歌山県については、放射能汚染の心配はありません。国、県からの放射能汚染測定等の指示、又、そういった心配事が生じた場合は速やかに対応いたします。



13 富貴小学校6年 中山 航大 議員

豊かな自然環境を取り戻すことについて

- 地域周辺の山や森などを見てみると、荒れているように見える。
- 川の流域に、「ゴミや燃えないゴミなど捨てられている。また、道路に沿ったところに「ゴミや粗大ゴミも捨てられていることがある。
- 地形図を見ながら校区の土地の利用について調べたら、田んぼや畑・茶畑などの記号があるのに、実際は何も作っていない所や雑草が生えているところがあった。
- トラックやミキサー車などが多く、狭い所やカーブが危険である。

●眼科検診に高野山小学校へ車に乗って行ったとき道が狭いと思っただ。もっと広くなれば交流がしやすいかなと思う。

質問

- 1、森林の荒れている所や川や道路のゴミ対策について、どんな対策を立てているか。
- 2、利用していない土地(田んぼ、畑、空き地など)について、何か対策を立てているのか。橋本や五條・高野山につながる道路の整備について

3、大型トラックやミキサー車などが多く、狭い所やカーブが危険なので道路を拡げてほしい。

4、富貴地区と高野町の中心部の高野山につながっている道路の整備をしてほしい。

II 答弁 II

森林の整備ですが、国・県・町は間伐、枝打ち、下刈りの助成を出し山の手入れをしています。もちろん山林に関しては保水の部分でも地域住民にとっては、非常に大事な山林だと考えていますので、今以上の助成をするという形で取り組んで行かないといけないと思っています。

続いて、不法投棄の問題ですが、今年5月に筒香地区内で河川清掃を行い沢山の方々の参加をいただいたので、河川も綺麗にすることが出来ました。また、毎年7月の河川愛護月間中に富貴地区の住民の方たちによる河川清掃や草刈りを行っていただき年々河川のゴミは少なくなっています。

今後、大量にゴミを捨てている箇所については監視カメラを設置する予定です。また、常に啓発にも取り組んでいきます。

次に、利用していない空き地利用の質問ですが、富貴地区以外にも後継者不足で空き地が増えてきています。他の地区から農業体験を呼び込み地区で農業生計を立てていただくようなことにも取り組んでいきます。横浜から夫婦で来られ空き地を利用して農業で生計を立てている方々もおられますので、どんどん誘致するように取り組んでいきたいと思っています。次に道路についてですが、富貴

く五條間につきましては県道のため、和歌山県・奈良県に強く要望していきたいと思っています。高野く富貴、筒香間に関しては、昨年度から危険な場所にガードレールの設置工事を進めているので、引続き今年度もガードレール設置工事に取り組んでいきます。



子ども議員の質問が全て終わると上中居教育長が、「これからもしっかり勉強してください。その学力から、しっかりした意見が出ます。みんなの違う意見をまとめてこそ素晴らしい社会ができると思います。今日の一つ一つの意見はよい町を作る上で大いに参考になりました。」と挨拶し、最後に議長が閉会宣言をし、子ども議会は閉会しました。

※編集に際し、質問及び答弁は、紙面の関係上、抜粋して掲載しています。

7月

高野町内各小中学校プール開き



町内各小中学校でプール開きが行われました。



ちの話
地
TOPICS 7月~9月

7/14

第6回「極楽の森」 下草刈りによる 森林整備を行う

極楽橋周辺の豊かな自然環境を守り、高野山の自然景観を取り戻すため、関係団体やボランティアによる整備を行いました。

「世界遺産高野山」の玄関口として参拝者が一番、目につくところでもあり、2年前に植栽した広葉樹も育ち森林として本来の美しい姿を取り戻しつつあります。



7/27~31

“打った！走った！ 僕らの高野山”



『東日本大震災復興支援ガッツ！ジャパン』をスローガンのもとに第17回高野山旗学童軟式野球大会が転軸山スポーツ広場を主会場として行われました。

北海道地区をはじめ、東北、北陸、東海、甲信越、関東、そして西日本全府県の参加54チーム、937名の小学生球児が熱戦を繰り広げ、大会を通じ東北地方の小学生球児にも夢と希望を贈り届けられた大会でもありました。

結果は以下のとおり。

- 優勝 長曽根ストロングス（大阪府）
- 準優勝 東16丁目フリッパーズ（北海道）
- 第3位 桂坂ファルコンズ（京都府）
- 第4位 常磐軟式野球スポーツ少年団（福島県）

8/1

高野山中学校の平和学習

高野山中学校では、平和学習として橋本市在住の富田全紀（とみた まさのり）氏をお迎えし、第二次大戦時の経験談をお話いただきました。富田さんは、戦時中は中学生時代であり、子どもたちは自らの今の生活と重ね合わせて、真剣に耳を傾けていました。今回の平和学習は、子どもたちにとって、たいへん貴重な学習の機会となりました。



8/22~24

部落解放・人権夏季講座が 開催されました



高野山大学松下講堂黎明館及び高野山会館に於いて、『第43回 部落解放・人権夏季講座 2012』が開催されました。

開催に先立ち、高野山会館では『高野和太鼓童 ベスチャ』と『高野和太鼓童 DONKAKA』による和太鼓の演奏が行われ、高野町長の歓迎の挨拶で、『文化・伝統・自然と融和した聖地高野山で心の癒しを実感していただき、この講座が実りある講座になるように』と述べました。

9/18

3B体操を体験しました

2015年紀の国わかやま国体にて、高野町ではデモンストレーションスポーツ（デモスポ）として**3B体操**が開催されます。それに先駆け、高野山中学校体育館において『**3B体操**を体験しよう』が開催され約300名が参加しました。**3B体操**は、ベビーから高齢者まで幅広く楽しめる体操です。

2015年9月、正式に「デモンストレーションスポーツ（デモスポ）」として開催の折には、町民皆様のご参加お待ちしております。

（高野町の「公開競技はゲートボール」、「デモスポは3B体操」です。）



8/6

親睦交流スポーツ大会 ドッチボール伊都大会に参加



高野山小学校5・6年生が九度山町文化スポーツセンターで行われた和歌山県地域子ども集団親睦交流スポーツ大会ドッチボール伊都大会に参加しました。

この大会は夏休みを利用して、児童の健康や精神力の高揚を図り、地域の子もたちとの連帯性を培いながら交流を図る目的で開催されたものです。

みんなで力を合わせチャレンジし、楽しくプレイしました。

9/9

吉野川・紀の川源流 まつり開催

奈良県川上村に於いて「吉野川・紀の川源流まつり」が開催されました。

吉野川・紀の川流域協議会12市町村と関係団体が多数参加の下、栗山村長が「今日1日しっかり遊んで、しっかり学んで帰ってください」と挨拶されました。

展示ブースでは、市町村物産展や体験コーナー（割り箸作り・アクリルたわし作り）が行われ、高野町は花坂名物の焼きもち作り体験を行いました。

物産展・体験コーナー終了後、森と水の源流館に於いて農林水産省 田中卓二氏による「紀の川・吉野川食と水のつながり」と題した講演会が行われ、参加者はあらためて「食と水」の大切さを再認識しました。



世界遺産条約採択40周年記念 国際シンポジウム in 高野山

テーマ

世界遺産の保全と継承

～素晴らしい世界遺産を次世代へ～

世界遺産条約採択40周年記念事業

開催趣旨

世界遺産条約がユネスコ総会で採択され、本年が40周年です。また、日本が締約国となって20年です。
この記念すべき2012年に、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を保有する和歌山県で、人類の宝である世界遺産の重要性を再認識するため、世界から有識者を招聘し、世界遺産の保全の在り方や、次世代への継承についての講演及びパネルディスカッションを開催します。

日時

平成24年**11月11日**◎
13時～16時15分(開場12時30分)

会場

高野山大学 松下講堂黎明館

プログラム

13:00～ **開演** (12:30～開場)
13:10～ **基調講演**
アルフレッド・コンティ氏 イコモス副会長・イコモス CIIC 委員
13:45～ **特別講演**
村上保壽氏 総本山金剛峯寺執行・高野山真言宗教学部長
高野山大学名誉教授
14:25～ **パネルディスカッション**
西村幸夫氏 (コーディネーター) 日本イコモス国内委員長
東京大学副学長
アルフレッド・コンティ氏 イコモス副会長・イコモス CIIC 委員
ビクター・フェルナンデス・サリナ氏 イコモス CIIC 委員長
マイケル・ロメロ・テイラー氏 イコモス CIIC 委員
杉尾邦江氏 日本イコモス国内委員会理事 イコモス CIIC 副委員長
仁坂吉伸 和歌山県知事

入場無料

要申し込み(定員400名)※申込締め切り 平成24年11月5日(月)

■申し込み・お問い合わせ先 和歌山県教育庁生涯学習局文化遺産課

TEL073-441-3740 FAX073-441-3732

編集・発行

高野町企画財政課

〒648-0281

和歌山県伊都郡高野町

大字高野山636番地

☎0736(56)3000

<http://www.town.koya.wakayama.jp/>

e-mail: kikaku@town.koya.wakayama.jp

町民のこころ

	人	□
6月末	3,635人(男1,777人,女1,858人)	
7月末	3,644人(男1,779人,女1,865人)	
8月末	3,628人(男1,771人,女1,857人)	

	世帯	死亡	出生
6月末	1,837世帯	3人	3人
7月末	1,844世帯	2人	2人
8月末	1,840世帯	5人	2人

(住民基本台帳による)

※7月末日からは、外国人住民も含んだ数値となります。(外国人住民に住民基本台帳法が適用され、外国人登録法が廃止されたことによるもの)